

〈特別報告〉 石川県穴水町より

能登半島地震後の防災教育

穴水町立穴水中学校
校長 廣澤 孝俊 さん

2025.8.30

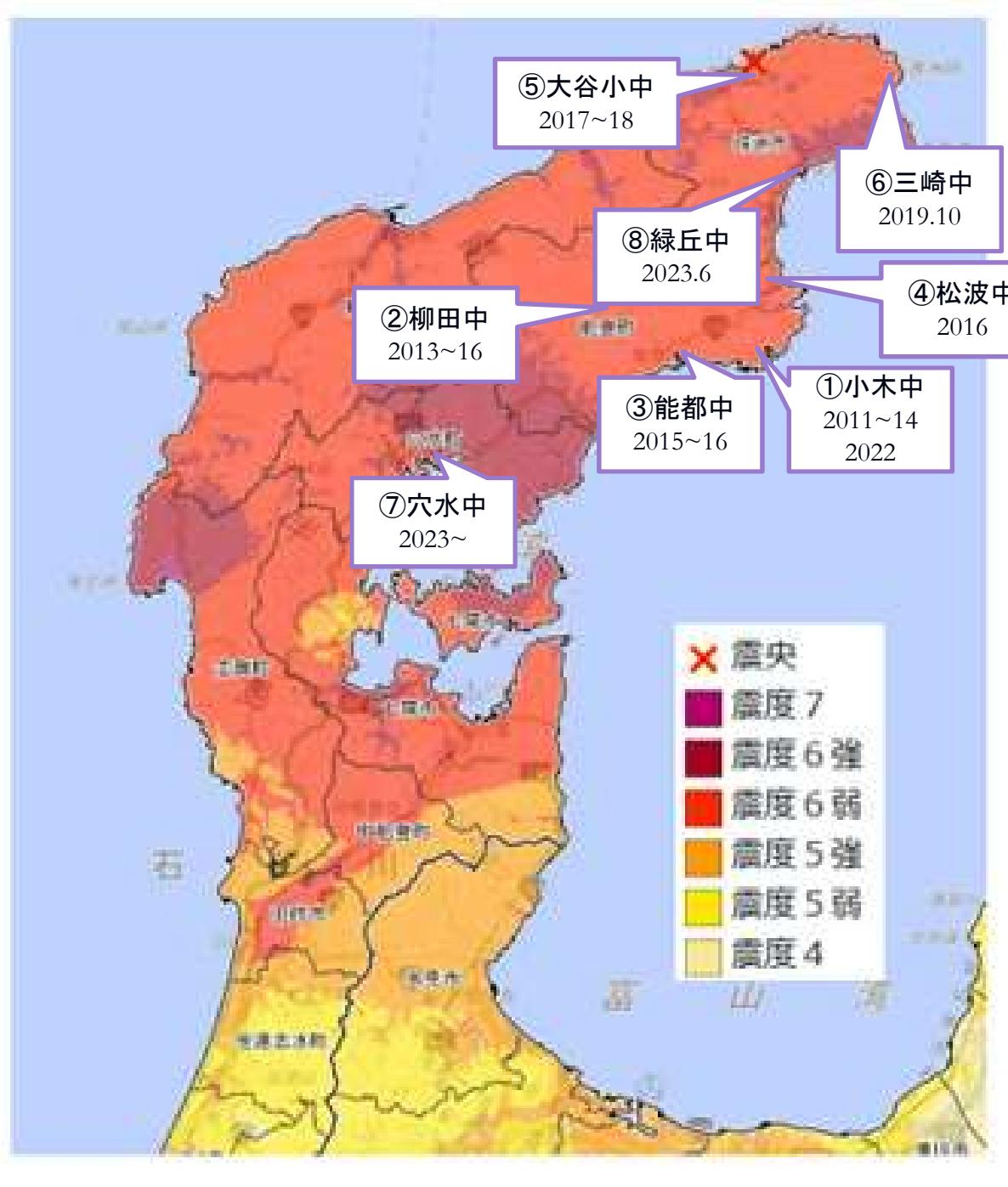
災害に向き合う教育の未来

～あのとき子どもだった
教員・世代が語る～

未災地と被災地の 防災教育

～「つなぐ」から
「生き方を考える」へ～

石川県穴水町立穴水中学校
廣澤 孝俊



防災教育への取組

防災教育を学んだ卒業生からの聞き取り

中学生の時がんばった防災の取組は能登半島地震で生かされたか

避難所で段ボールの間仕切りをすぐに組み立てたり、避難する時や避難してきた人たちに声をかけたり自分から避難所運営に積極的に関わることができた。

防災教育を学んだ卒業生からの聞き取り

中学生の時がんばった防災の取組は能登半島地震で生かされたか

勤務先の小学校で、自分の体験から学んだことや災害の恐ろしさ、日ごろの訓練や備えの大切さを子どもたちに伝えるようになった。防災教育を受けていたから話せたと思う。

3月11日……。

自分たちにできることはない
か……。



小木に津波が来たらどうなる？



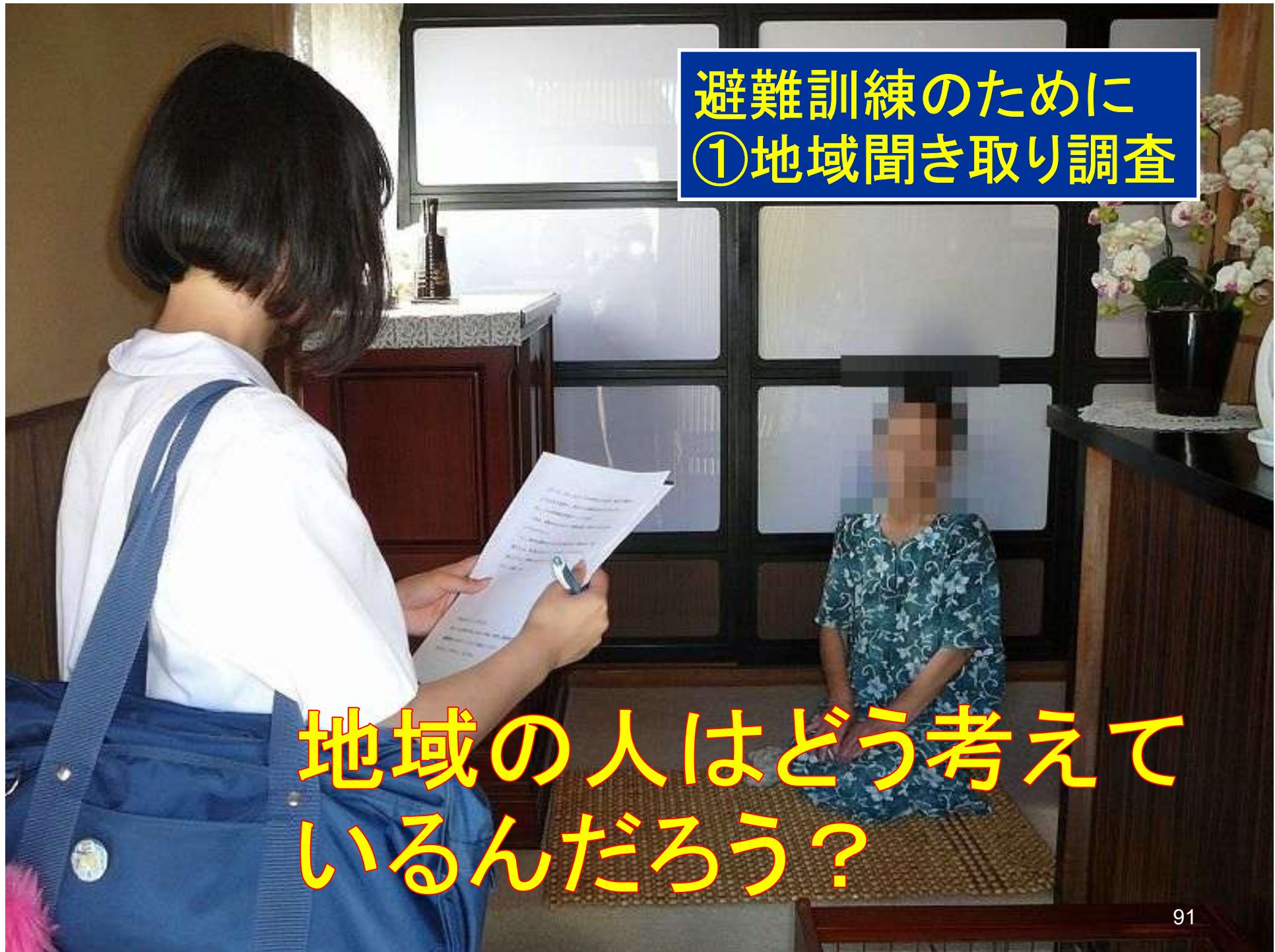
地域から犠牲者を一人も出
たくない

防災の活動スタート 2011年(初年度)の目標

- ①小木地区全体の避難訓練をやりたい
- ②避難所になったときどうすればよいか知りたい

避難訓練のために
①地域聞き取り調査

地域の人はどう考えて
いるんだろう？



ハザードマップ作り



避難訓練に向けて ②ハザードマップ作り







↑ ACT 1. 新町高通りなんだぜ
まず、新町の駐車場からスタートします。
駐車場から見て右方向へ・・・
少し進むと階段がみえます！

ACT 2 へ GO →

↓ ACT 2. 階段を登ろうぜ
階段を登ると、右にお寺が見えます。
ええ、法融寺ですとも。
分かれ道がありますが気にせず
そのまままっすぐ進みましょう！

ACT 3 へ GO →



↓ ACT 4. 海と空と大地と（以下略）
更にまっすぐ進んだら、神社があります。
←の写真の奥にチラッと見えるのがそうです。
神社の左にある道へ進んでください。
ここからは一本通行なので、行けばわかります。
ガードレールがありますが、途中の崖に落ちないよう！

ACT 5 へ GO →



↑ ACT 3. 寺へ…
まっすぐ進むと階段とは別の法融寺の
入り口が見えます。しかし入ってはならぬ。
更に真っすぐ進みましょう。
ちなみにここは急な坂なので、
逃げる際には転ばないよう注意
してくださいね。

ACT 4 へ GO →



新町 ⇒ 小木小学校



↑ ACT 5 その階段、地獄のごとく
この階段は、地獄階段と名付けられている
階段です。ここから避難する人もいると思うので、
登るときは十分注意してくださいね！
では降りないで、さっさきの道を
まっすぐですみましょう。

ACT 6 へ GO →

↓ ACT 6 ついた！と思ったら・・・
フェイクですか？はい。ここは小木分校です。
この場所も一応避難所なのですが、建物も古く、
壊れやすい校舎なので大変危険です。ですから避
難所と呼ぶにはふさわしくないです。もう少し進
んで、小木小学校まで向かいましょう！

ACT 7 へ GO →



↓ ACT 8 小木小学校到着！！！
つきましたー！お疲れ様です。
スムーズに進んで来れましたでしょうか。
最後にひとつ！避難する時は必ず落ち着いて
冷静に避難しましょう。冷静さを失うことが
事故につながります！
それではお疲れ様でした。
DVD もよろしく！！

・・・ To be continued

↑ ACT 7 ゴールまでつっぱしれ
ここまで来ればあと少し！ここでは車が來て
ないか確認して、足場が危なので注意してわたり
ましょう。それと、階段もありますが、曲がりく
ねっているので十分気を付けてください。
あとは、学校まで一直線！



避難訓練に向けて ③避難経路図作成

ACT 8 へ GO →

避難訓練に向けて ④避難経路DVD作り



避難訓練に向けて

④「地域のみんなで津波について考えてみんけえ」



生徒会が呼びかけた 第1回小木地区避難訓練



避難場所2カ所で地域の方約300人が参加

避難所になつたら ①避難所生活体験





避難所生活體驗



段ボールでの間仕切り体験

2011年(1年目)のまとめ

未災地の生徒の声

こんな活動、本当に必要なの？



☆地域に出ていく

☆地域の人たちの声を聞く



地域から感謝・応援の言葉をかけられる
『活動意欲の高まり』

2012年(2年目)の目標

- ①避難訓練でもっとたくさん
の人に参加してもらいたい
- ②避難所になったとき自分は
どう動けばよいか考える

保育園児との交流





津波防災活動

お年寄りとの交流



津波防災活動



小学生に津波について調べたことを伝えよう



中学生がなんかやつとるし、
自分たちも一緒にやろう！

保育園児・小学生とその保護者
お年寄り

山手の学校 柳田中学校との交流



小木地区 とも旗祭り

山手の学校 柳田中学校との交流



小木地区 とも旗祭り

柳田地区 ブナの森 散策



柳田地区 ブナの森 散策



公民館と連携した活動

小木が被災したら柳田の
人が助けてくれる！柳田で
なんかあつたら小木で助け
る！

里山里海交流会



生徒会が呼びかけた 第2回小木地区避難訓練



お助け隊の結成

海上保安庁との連携



850名の参加!

ノトショウリツオキ チュウカ ツコウ

2012年(2年目)のまとめ

未災地の生徒の声

もう活動しなくても大丈夫じゃないの？



- ☆他地域の中学生と交流する
- ☆さまざまな外部組織と連携する



自分たちの活動の大切さに気付く(理解する)
多種多様かつ充実した活動を行うことができる

2013年(3年目)の目標

- ①防災と減災のために何ができるか考える
- ②防災・減災の大切さを地域の人たちに伝える

身近にあるものでの応急手当講習



歌と踊りと劇で防災の大切さを伝えよう



歌と踊りと劇で防災の大切さを伝えよう



保育園訪問

第3回小木地区避難訓練

500名の参加!!

第3回小木地区避難訓練



2013年(3年目)の課題

未災地の生徒・先生の声

いつまで津波防災のことをやるの？



☆自分たちが学んだことを発信する。



災害時に自分の役割を判断し行動できる力が
身に付いていることに気付かせる

2014年(4年目)の目標

- ①防災と減災のために
自分たちができることの
レベルアップ
- ②防災活動の大切さを
たくさんの人たちに伝える



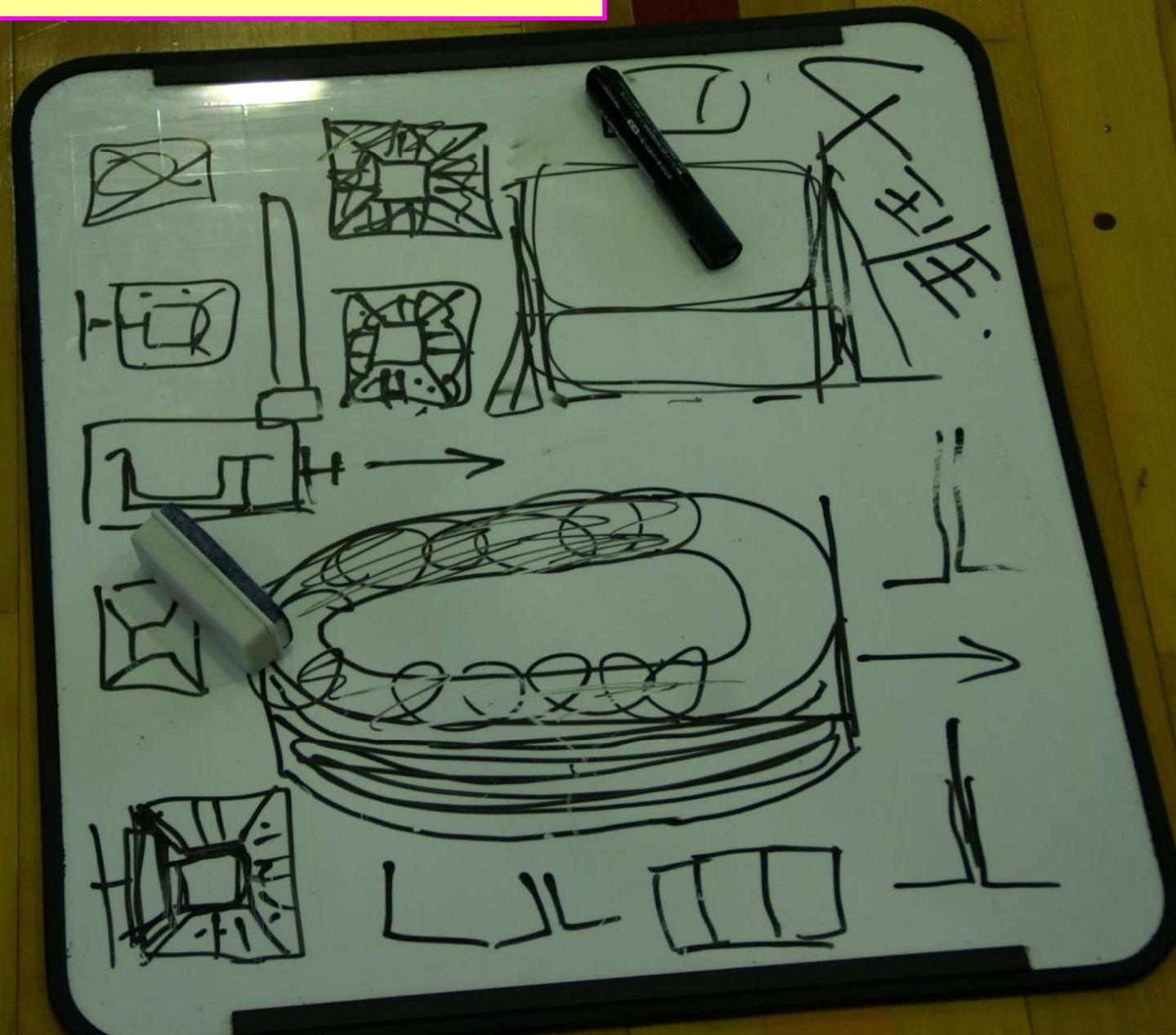
防災活動に関する縦割り班での意見交換

- ・ 食料、トイレの場所→教える
- ・ じゃまにならないようにすみの方にいる
避難してきた人
- ・ 体が不自由な人を助ける
- ・ 健康状態を見る
- ・ チガ→手当てをする
- ・ 人数確認
- ・ 先頭に立て指導する
- ・ 人が多く入る前に、スペースを考える

- 車イスの人をひいてあげる
- 食料などをわけてあげる
- これからどうするのが説明してあげる
- 安心できるように詰しかけてあげる



何の設計図…？





段ボールでの簡易トイレづくり



修学旅行での石巻市立湊中学校との交流



武内さん



2014年(4年目)の課題

未災地の生徒(1年生)・新しく勤務することになった先生の声
どうして津波防災活動をやるの?

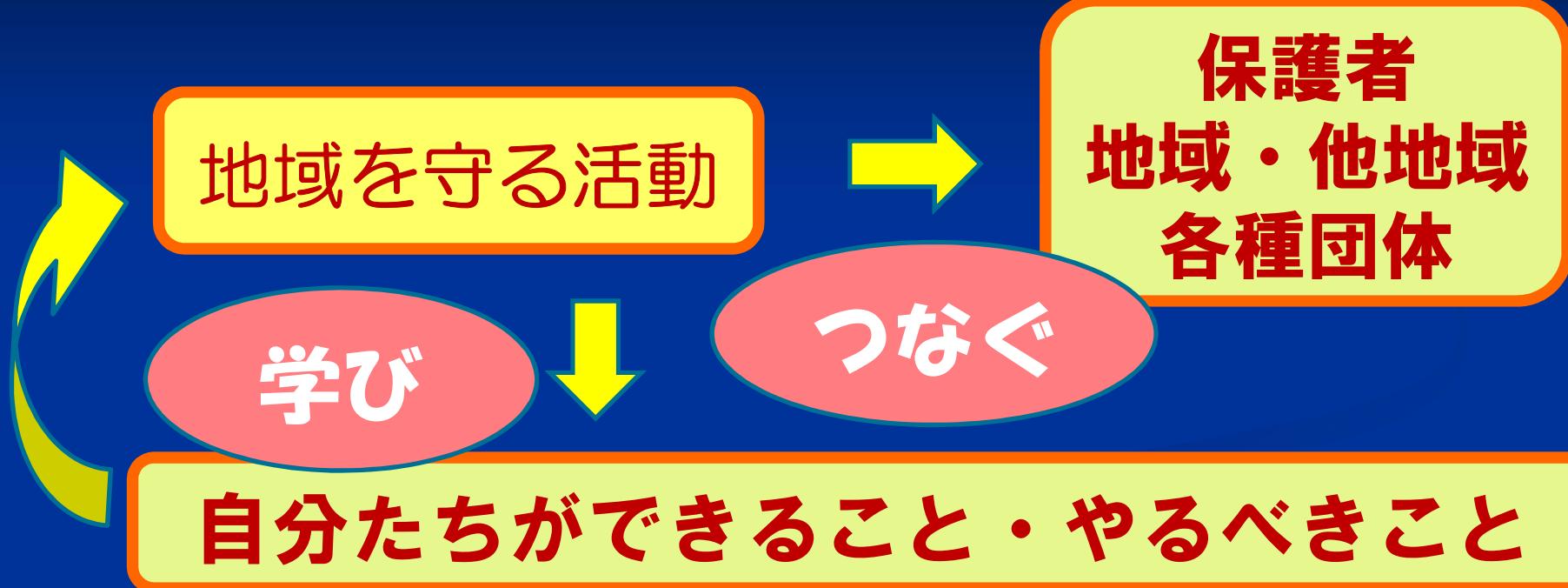


☆2・3年生が学んだことを1年生に伝える。



3年間の防災活動のサイクルが出来上がる

4年間を振り返って(成果)



生徒の姿

- ①危険を予測し自他の安全を確保するための的確な行動ができる
- ②防災活動や災害時の支援活動においての適切な判断と行動ができる

私たちの活動は
まだ始まったばかりです。
この活動が
「小木中学校の伝統」に
そして「地域の文化」になるよう
これからもがんばっていきます！

防災教育とは



正しく恐れる

正しく恐れる

“恵み”



“災い”



普段は、災害を恐れず自然の恵みをいっぱい受けとる
災害が起きた、その日その時はしっかり逃げる

防災教育とは



正しく恐れる

自分の生き方を考える

防災を考えるときのポイント

能登の自然の悪いところとも
上手に向き合いながら
能登の自然の良いところを
たっぷりと受け取る

2つの側面を理解する

—“悪いところ”と“良いところ”—

学んだことを生かして
自分の命だけでなく地域みんなで生き抜くこと
を目指して何が必要かを考えて実践する

自分たちの理想を目指して取り組む

—“自分”を大事にして、“他人”も大事にする—

生きかたを考えるときのポイント

人や物事

の悪いところとも

上手に向き合いながら

人や物事

の良いところを

たっぷりと受け取る

2つの側面を理解する

—“悪いところ”と“良いところ”—

学んだことを生かして

他人の考え方を尊重し

自分の夢の実現

を目指して何が必要かを考えて実践する

自分たちの理想を目指して取り組む

—“自分”を大事にして、“他人”も大事にする—

つなぐ

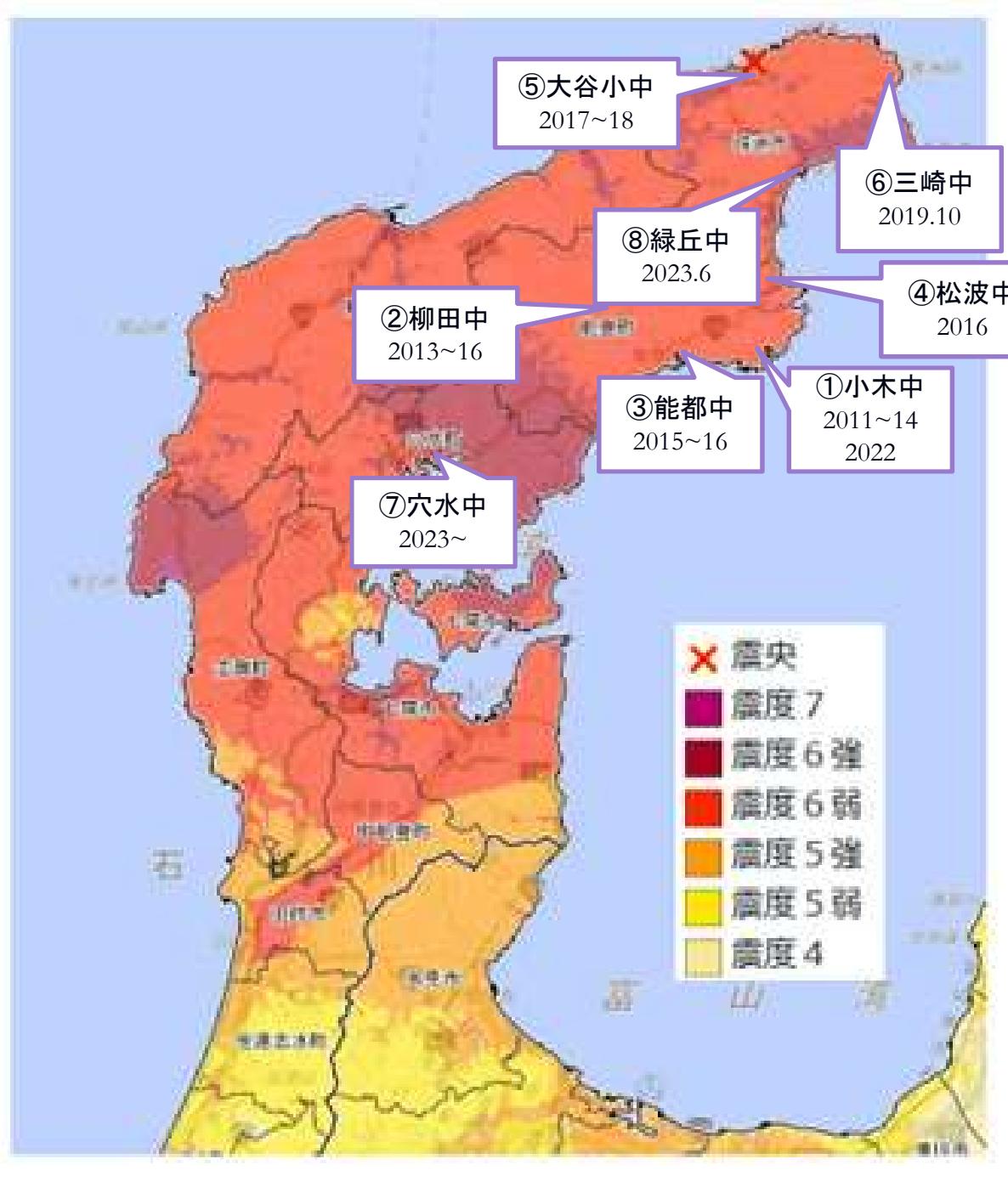


広げる

『深く深く』から『浅く広く』へ

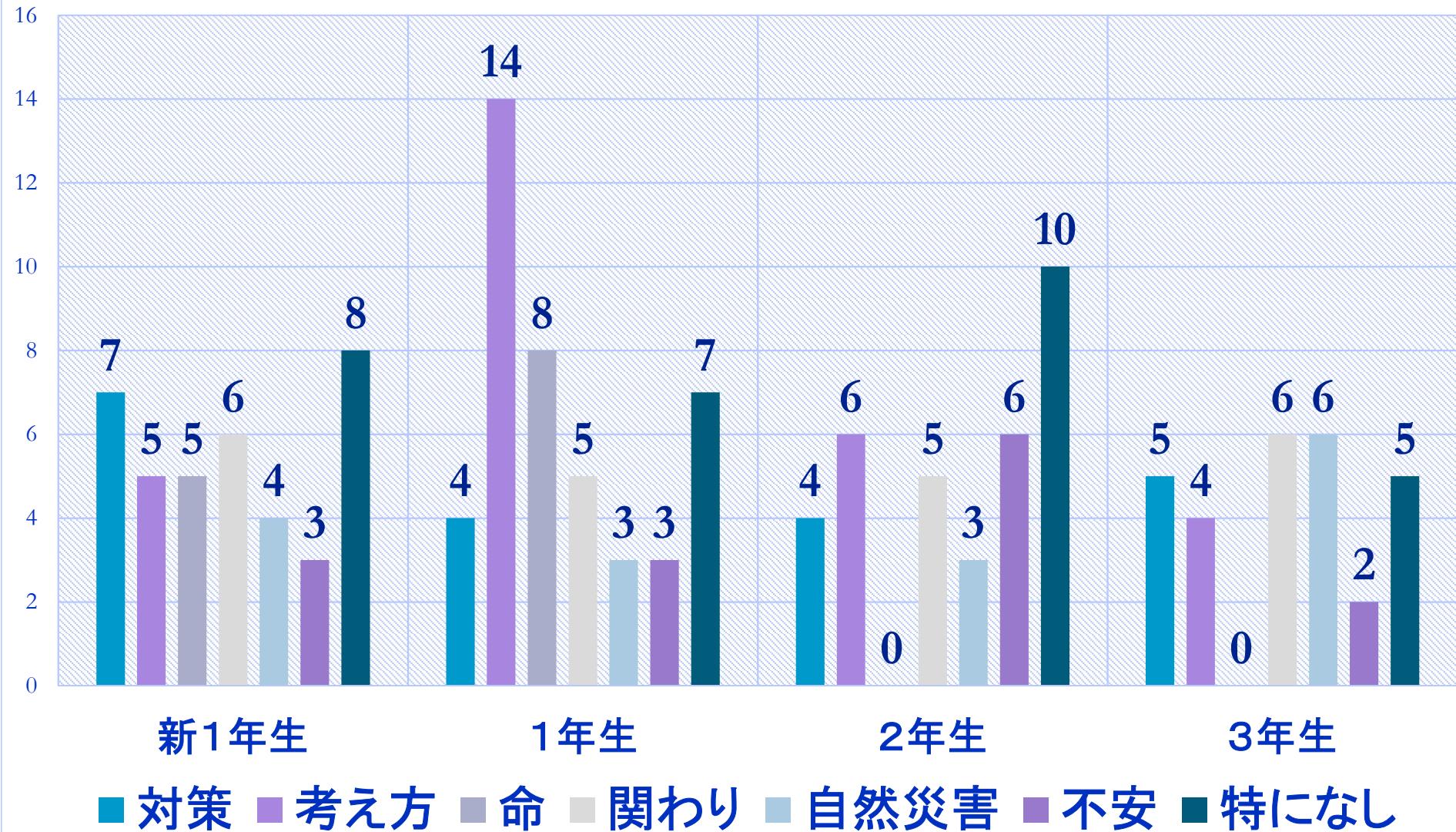
未災地の防災教育 ⇒ ふるさと教育

(『恵み』) から



防災教育への取組

地震を経験して自分で変わったこと



令和7年4月から

◆穴水中SINGプロジェクト

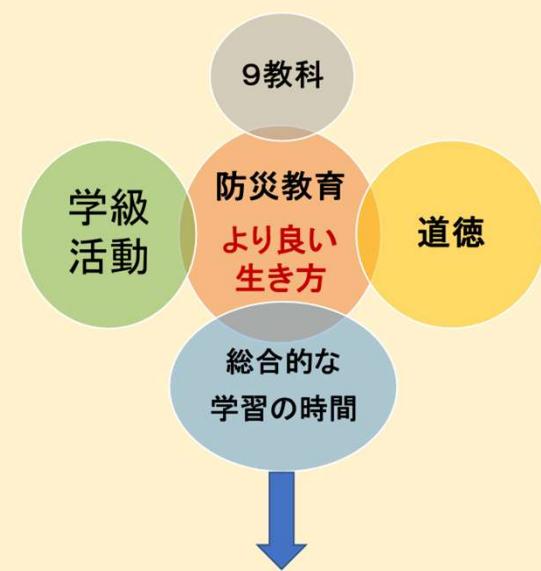
◆被災地の中学生のどのような力を
育てていくか

『生き方』『関わり』『備え』

穴水中 SING プロジェクト

生き方科

〈防災教育を通してより良い生き方を考える〉



SUSTAINABLE
今よさを守り伸
ばす

穴水中
SING
プロジェクト

GATEWAY
奥能登の軸と
なる

NETWORK
人と人をつなぎ
互いに共有する

INNOVATION
挑戦し変化する

生徒会活動

〈自治活動を通してより良い生き方を考える〉

自分たちの
学校を自分
たちの手で
よりよくする
ための活動
をしたい！

学年に関係な
く全校生徒が
仲良くなるよ
うにしたい！



生き方科
防災教育を通
してより良い生
き方を考える
・9教科
・道徳
・学級活動
・総合的な学習の
時間

生徒会活動
自治活動を通
してより良い生
き方を考える
・生徒総会、集会、
委員会活動
・穴中タイム

アウトプットする力
・表現力
(スピーチ・文章)
・コミュニケーション
↓
自分の生き方を
考える

〈ゴール〉
①中学生の視点で「災害に強いまちづくり」を行う
②町の魅力をどんどん発信する
③文化祭の全校合唱で地域の皆さんに心を込め
「SING」して元気と勇気を伝える

3年間で1つのサイクルと
し、穴中の伝統を作る！

穴水町復興計画

SUSTAINABLE

今のことばを守り
伸ばす



穴水町
復興計画

GATEWAY

奥能登の軸となる

INNOVATION

挑戦し変化する

穴水中 **SING**プロジェクト

SUSTAINABLE
今のことばを守り伸
ばす



NETWORK
人と人をつなぎ
互いに共有する



穴水中
SING
プロジェクト

INNOVATION
挑戦し変化する



GATEWAY
奥能登の軸と
なる

穴水中SINGプロジェクト 〈ゴールの姿〉

- ①中学生の視点で「災害に強いまちづくり」を行う
- ②町の魅力をどんどん発信する
- ③文化祭の全校合唱で地域の皆さんに心を
込めて「SING」して元気と勇気を伝える



穴水中の伝統 → 地域の文化

- ・サイクルを回す(3回転で9年)
- ・生徒から家族、地域に伝える
- ・生徒が親になる
- ・将来町に戻ってくる

穴水中SINGプロジェクト

〈ゴールまでの道のり〉

自分、家族、
地域の人たち
の命を守ること
を考える
↓
自分の生き方
を考える

生き方科

防災教育を通
してより良い生
き方を考える

- ・9教科
- ・道徳
- ・学級活動
- ・総合的な学習の
時間

生徒会活動

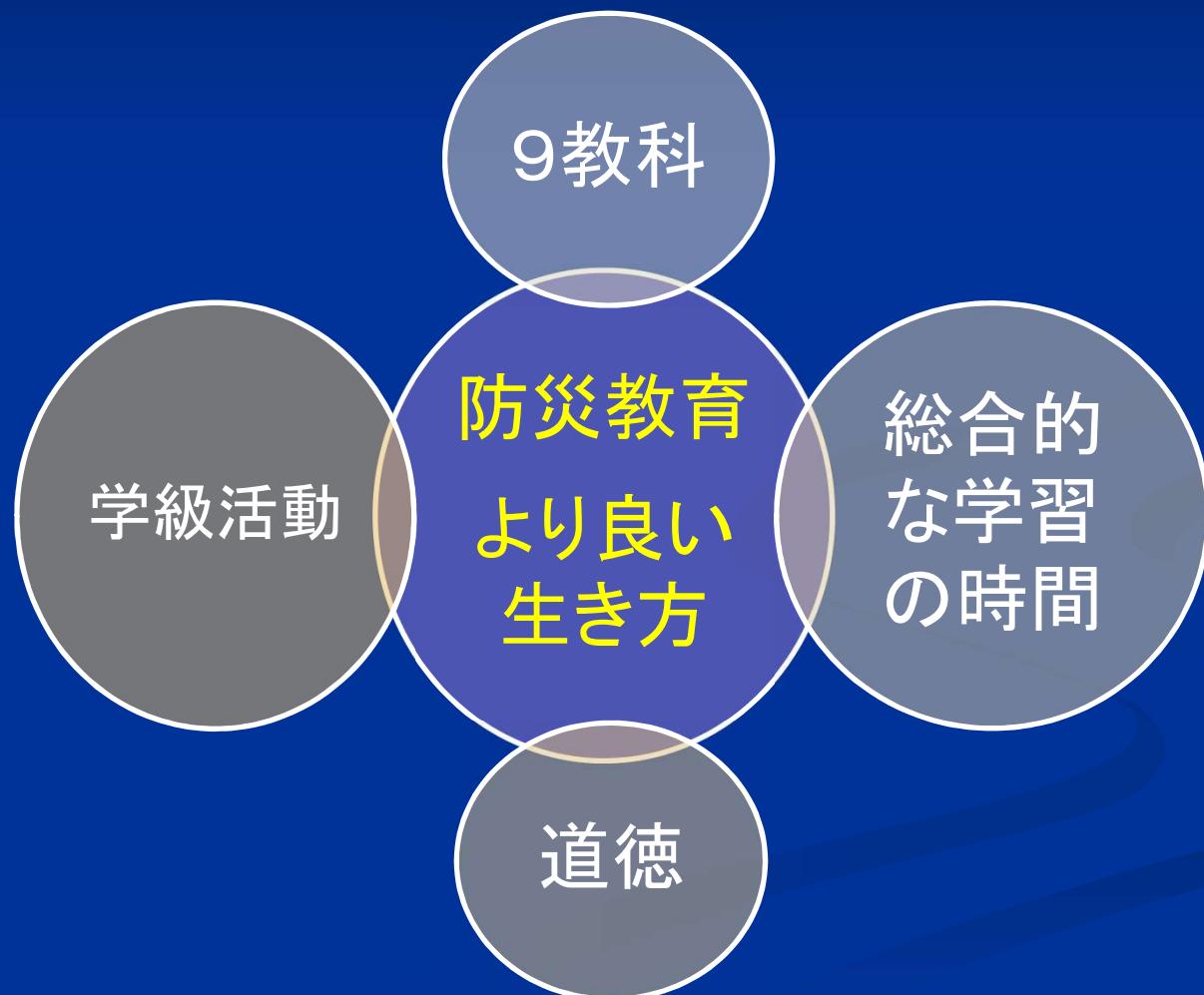
自治活動を通
してより良い生
き方を考える

- ・生徒総会、集会、
委員会活動
- ・穴中タイム

アウトプットする力
・表現力
(スピーチ・文章)
・コミュニケーション力
↓
自分の生き方
を考える

(1) 生き方科

〈防災教育を通してより良い生き方を考える〉



(1) 生き方科

〈防災教育を通してより良い生き方を考える〉

【9教科(R7年度)】

- ◇国語・・・情報収集, 情報の整理, 発信(1~3年)
- ◇社会・・・ハザードマップ(2年)
- ◇数学・・・地震のゆれの予測のしくみ(1年)
- ◇理科・・・地震の仕組み(1年)
- ◇英語・・・安全な避難方法の説明(3年)
- ◇音楽・・・全校合唱(1~3年)
- ◇美術・・・防災ピクトグラムづくり(1年)
- ◇保健体育・・・ストレス解消法(1年)

自然災害による障害の防止(2年)

- ◇技術・・・エコキューブラジオ制作(2年)
- ◇家庭・・・防災に備える安全な住まい方(1年)

(1)生き方科

〈防災教育を通してより良い生き方を考える〉

【総合的な学習の時間】

1年生

穴水町の仕事図鑑作成

町で頑張っている人を紹介したい！

2年生

穴水町PR動画とパンフレット制作

修学旅行で穴水町を紹介したい！

3年生

中学生議会での提言

町の復興に携わりたい！

◆生徒によるAKG

(空中危険回避ガイドライン)作成

- ・自分で判断し危険回避行動をする
- ・地震、津波、豪雨による河川の氾濫
- ・登下校時、授業中、休み時間



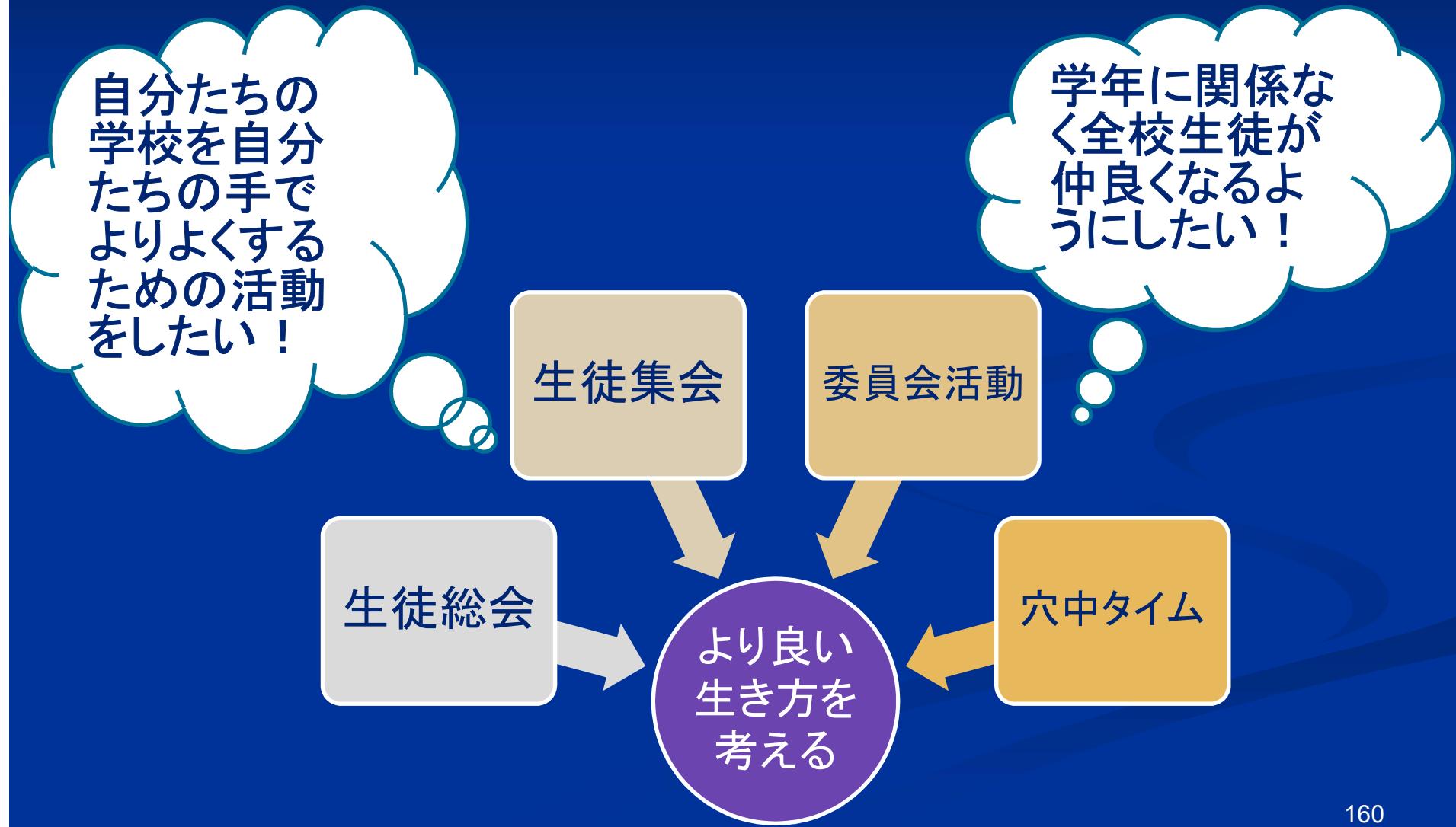
ハザードマップの見方



ハザードマップと実際の地形を重ねてみる

(2) 生徒会活動

〈自治活動を通してより良い生き方を考える〉



(2) 生徒会活動

〈自治活動を通してより良い生き方を考える〉

生徒集会

卒業式
合唱

目安箱

文化祭全
校合唱

生徒会活動

学校生活
満足度
アンケート

校歌
コンクール

穴中
タイム

ボランティア
活動

体育祭
応援

◆町を大切に思う心の育成

- ・町の復興計画と同じ方向性
- ・復興に携わっているという思いを持つことができる活動
- ・いざという時の備え

被災地の中学生が町のすばらしさと命を守る備えを学ぶことで、将来町のために頑張りたい、町を支える立場になりたいという思いにつなげたい。









ご清聴ありがとうございました

